

<p>疾病 (異常)</p>	<p><b>18 肉用鶏の真菌症</b></p>		
<p>肉眼所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家禽ではアスペルギルス症が一般的である。</li> <li>・病巣分布により肺、皮膚、全身、眼、脳等の型が知られ、肺型が好発する。</li> <li>・肺型では大きさが様々で硬固な結節は肺と気嚢に多発する。しばしば気嚢炎からの接触性播種により結節は消化管漿膜に多発する (図2)。</li> <li>・皮膚型では結節が頸、肩甲骨間、翼、大腿、胸部等の皮膚に多発ないし散在している。</li> <li>・全身型の発生は稀であり、結節は肺、肝臓、腎臓、心臓、気嚢等に形成される。</li> </ul> <p>参考文献</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Dykstra MJ, et al: Aspergillosis, Diseases of poultry, 13th ed, Swayne DE, et al eds, 1078-1088, Wiley-Blackwell, Ames (2013)</li> <li>2 菊地 薫, 他 : 1農場の肉用出荷鶏に散発したアスペルギルス症の30例, 日獣会誌, 74, 67-71 (2021)</li> </ol>		
<p>廃棄等の措置の根拠</p>	<p>別表第10 (全部廃棄)</p>		
			
<p>肺型 : 混濁及び肥厚した腹気嚢に直径2~45mmの結節が播種している。</p>	<p>肺型 : 小腸の漿膜と腸間膜に無数の黄白色小結節が播種している。</p>	<p>肺型 : 断面では、小結節が癒合して大結節病巣が形成されている。</p>	
			
<p>皮膚型 : 頸及び両翼部に直径3~11mmの淡黄色結節 (矢印) がみられる。</p>	<p>全身型 : 肝臓及び心臓に淡黄色結節 (矢印) が多発している。</p>	<p>肺 : 肉芽腫に幅が均一で Y 字状に分岐する有隔菌糸が増殖している。</p>	